**歯周病専門医新規申請書類チェックシート**

氏名

この度の申請につきまして、ありがとうございます。

申請前に確認をお願いします。準備が出来ましたらそれぞれ☐に印を付けてください

申請時はこの用紙1-27すべてにチェックが記入されていることを確認のうえ、同封してください。

* 1．様式１～様式５の提出がある
* 2．様式１の提出日が今回の申請期間である

（それ以外の場合は再提出なので前回申請の状況を事務局にて確認）

* 3．申請料11,000円の振込控が様式１の裏面に貼付されている

（申請フォーム入力後クレジットカード決済・銀行振込にてお支払いの場合、入金完了メールを印刷し貼付）

* 4．様式２ ※は事務局にて記入するので、記載不要
* 5．様式２ 本学会の認めた研修施設で認定医に登録後、通算2年以上の臨床経験がある（規則10条2項(3)）
* 6．様式２の研修場所は日本歯科専門医機構認定研修施設である
* 7．様式２の指導医は、日本歯科専門医機構認定の歯周病専門医、かつ本学会の指導医であり、その印（ゴム印不可）がある
* 8．様式４で認定医登録後、通算2年以上本学会の会員である（事務局にて入会日記入・捺印）
* 9．様式５で日本歯科専門医機構認定の歯周病専門医、かつ本学会の指導医の推薦がある
* 10．専門医新規申請時研修会出席・業績発表確認用シートの提出がある
* 11．認定医に登録後、本学会学術大会における認定医・専門医教育講演を2回以上受講し、受講証が添付されている
* 12．2020年度以降、日本歯科専門医機構「共通講演」を２単位/各年度受講し、受講証がある

※未受講の場合、受講予定の記載があれば受付可

※2024年度申請以降は「直近５年間」となる

* 13．発表単位（１０単位分）の証明資料の提出がある
* 14．歯科医師免許証の提出がある
* 15．本学会認定医認定証がある（規則10条2項(1)）
* 16．認定医認定証の期限は次の理事会開催日まで有効である（期限を迎える場合、その後に予定されている認定医更新申請期間中に手続がされている）
* 17．様式６で１０症例の提出がある
* 18．様式７-１、７-２、８-１、８-２が１０症例分ある
* 19．様式６に日本歯科専門医機構認定の歯周病専門医、かつ本学会の指導医の印（ゴム印不可）がある
* 20．症例は１０症例の提出があり、１０症例があることが容易に判別できる
* 21．様式８がカラーで電子データ化されている
* 22．症例提出用テンプレートがpptxまたはpdfで作成されている（mac形式は不可）
* 23. 申請者は臨床データベースへの症例登録に同意している
* 24．JSP-Chart-DB「追加情報／ツール」の必須項目すべてに入力し、必須項目以外も症例報告書に記載されている内容が、対応する項目に反映されている
* 25. JSP-Chart-DBから申請症例のみでZipファイルが出力されている（ソフト内に保存されている全ての症例が出力されますので、申請症例以外は消去してください）
* 26. 本紙（□に印済み）、様式１～８、症例提出用テンプレート、歯周病専門医新規申請時研修会出席・業績発表確認用シート、歯科医師免許、認定医認定証、が電子化され、JSP-Chart-DB出力Zipファイルとともに学会ホームページ書類提出フォームよりアップロードが完了している。また症例資料（様式７-１、７-２、８-１、８-２、症例提出用テンプレート）は症例毎に１つのフォルダにまとまっている
* 27．紙媒体でのプリントアウトが下記方法で同封されている

・様式６

・【様式７-１、７-２、８-１、８-２、歯周病専門医症例提出用テンプレート】

の順でまとめ、【】内の様式は症例ごとに閉じること。逸脱しないよう、まとめてゼムクリップなどで閉じること。

書類は全てA４サイズで統一すること。

・本紙

・様式１～５

・歯周病専門医新規申請時研修会出席-業績発表確認用シート

・歯科医師免許証

・認定医認定証

の順でまとめること。

書類は全てA４サイズで統一すること。

**枠内の資料をレターパック、簡易書留等、発送記録が追跡できる方法で送付すること。**